

当社ファンドの足元の運用状況について

受益者向け資料
2020年4月8日

当社設定の公募投信において、2019年12月末から2020年3月末までの基準価額下落の背景と今後の見通しについてご説明いたします。

基準価額下落の背景と今後の見通し

2020年の年初、米中貿易協議の第1段階の正式合意などを背景に世界の株式市場は堅調に推移していました。1月下旬、中国で新型コロナウイルス感染拡大の懸念が強まり、日本やアジア株式市場などで下落は見られたものの影響は限定的でした。しかし、2月中旬以降、韓国、イタリア、イランなどにおける感染者急増を受け、パンデミック（世界的な大流行）への不安から投資家のリスク回避姿勢が強まり株式市場は世界的に大幅安となりました。

3月に入ると新型コロナウイルスの感染が欧米をはじめ世界中に急速に拡大し、中旬以降は複数の国で相次いでロックダウン（都市封鎖）が行われる状況となり、世界経済への影響が深刻になるとの懸念が強まる中で、世界的に金融市場が大きく動揺しました。景気の急減速で原油需要が低下する状況にもかかわらず、初旬に石油輸出国機構（OPEC）と非加盟産油国による協調減産交渉が決裂し、原油価格が急落したことも金融市場に打撃を与えました。

3月3日に米連邦準備制度理事会（FRB）が緊急利下げを行ったのを皮切りに、各国の中央銀行も相次いで景気下支えのための金融緩和を行いました。投資家心理の改善にはつながりませんでした。中旬には、株式などリスク資産が大きく下落するだけでなく、安全資産とされる米国10年国債の利回りが上昇（価格は下落）する場面もみられました。

世界的に株式市場が乱高下する中、23日にFRBが臨時の連邦公開市場委員会（FOMC）を開催し、金融市場と景気の支援のため無制限の量的金融緩和（QE）を打ち出すと、投資家心理はやや改善しました。また、27日には米国で2兆米ドル（約216兆円）規模の大型経済対策法が成立し、米国株式市場は反発しました。しかしながら、その後も感染者数が増加しているため、世界的に金融市場は不安定な状態が続いています。3月は為替市場も変動性の高い展開となりました。上旬には円が対米ドルで上昇し101円台をつけましたが、その後米ドル需要の高まりから急反落し、下旬には111円台をつけた後、月末は108円台となりました。

新型コロナウイルスの感染地域の拡大と感染者数の増加は、世界の経済成長にとってリスクであると考えられますが、個別銘柄の投資判断については、感染拡大が企業の業績に与える影響について長期的な視点で十分に精査することが重要だと考えています。運用担当者は状況を注視しつつ、運用プロセスに基づいた一貫した投資行動を継続してまいります。

【基準価額の下落要因となった主な市場環境】

（ご参考） 株価指数（現地通貨ベース*）	2020/3/30	2020/2/27	2019/12/27	1ヵ月 騰落率	3ヵ月 騰落率
Nifty 50指数	8,281.10	11,633.30	12,245.80	-28.82%	-32.38%
フィリピン総合指数	5,131.16	6,967.84	7,815.26	-26.36%	-34.34%
ラッセル2000指数	1,158.32	1,497.87	1,669.03	-22.67%	-30.60%
SET50指数	729.91	938.77	1,068.72	-22.25%	-31.70%
ジャカルタ総合指数	4,414.50	5,535.69	6,329.31	-20.25%	-30.25%
MSCI AC アジア指数（除く日本）*	1,248.88	1,484.57	1,567.88	-15.88%	-20.35%

（ご参考） 為替レート（対円）	2020/3/31	2020/2/28	2019/12/30	1ヵ月 騰落率	3ヵ月 騰落率
インドネシアルピア（100ルピア）	0.67円	0.78円	0.79円	-14.10%	-15.19%
インドルピー	1.46円	1.54円	1.54円	-5.19%	-5.19%
タイバーツ	3.34円	3.47円	3.63円	-3.75%	-7.99%
フィリピンペソ	2.13円	2.15円	2.16円	-0.93%	-1.39%
米ドル	108.83円	109.43円	109.56円	-0.55%	-0.67%

出所：株価指数はBloomberg L.P.のデータ、為替レートは一般社団法人投資信託協会が発表する為替レートに基づく。株価指数は、ファンドの基準価額算出に使用した投資対象ファンドまたはマザーファンドに合わせ、前日の終値を使用。株価指数については2ページ目をご参照ください。

*MSCI AC アジア指数（除く日本）は米ドル建てです。

※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式等について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシュアランス社とは関係がありません。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

200406 (04)

【ファンドの基準価額および期間別騰落率】

ファンド名	3月31日 基準価額	1か月 騰落率	3か月 騰落率
イーストスプリング・インド・インフラ株式ファンド	5,748円	-38.05%	-40.28%
イーストスプリング・インドネシア株式オープン	5,147円	-35.97%	-45.42%
イーストスプリング・インド消費関連ファンド	7,910円	-32.99%	-38.40%
イーストスプリング・インド株式オープン	9,571円	-32.00%	-34.85%
イーストスプリング・インド株式ファンド（3か月決算型）	6,140円	-31.42%	-34.30%
イーストスプリング米国小型厳選バリュー株ファンドBコース（為替ヘッジなし）	6,455円	-30.00%	-40.59%
イーストスプリング米国小型厳選バリュー株ファンドAコース（為替ヘッジあり）	6,135円	-28.76%	-39.62%
イーストスプリング・フィリピン株式オープン	6,006円	-25.34%	-33.85%
イーストスプリング・タイ株式オープン	6,832円	-24.14%	-36.63%
イーストスプリング・グローイング・アジア株式オープン	7,133円	-24.01%	-30.46%

※基準価額は、信託報酬控除後の数値です。

1ページ目に記載の株価指数について

※ Nifty 50指数は、インドのナショナル証券取引所に上場する50銘柄で構成されたインドを代表する株価指数です。

※ フィリピン総合指数は、フィリピン証券取引所が公表している指数です。

※ ラッセル・インデックスはラッセル社が公表する指数です。ラッセル2000指数は、米国市場の時価総額上位3,000社のうち、下位2,000社で構成される代表的な米国小型株指数です。ラッセル・インデックスはラッセル・インベストメント・グループが開発した指数であり、著作権等の知的財産その他一切の権利はラッセル・インベストメント・グループに帰属します。ラッセル・インベストメント・グループは、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

※ SET50指数は、タイ証券取引所（以下「SET」といいます。）がその商標権を有し、その知的財産権はSETにあります。SETはその適切性、十分な品質その他を保証するものではありません。SETは本情報を利用することにより生じうる過誤、省略または損失について何ら責任を負いません。

※ ジャカルタ総合指数は、インドネシア証券取引所が公表している指数です。

※ MSCI指数はMSCI Inc.が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

投資信託に係る費用について

投資信託では、一般的に次の手数料・費用をご負担いただきます。その料率は投資信託毎に異なりますので、詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面をご覧ください。以下は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が設定・運用する全ての投資信託のうち、投資者のみなさまにご負担いただく各費用における最高の料率を記載しています。

- 購入時手数料〔**最高料率 3.85%（税込）**〕：投資信託の購入時におけるファンドや関連する投資環境の説明および情報提供、購入に関する事務手続き等の対価として、販売会社にお支払いいただくものです。
- 信託財産留保額〔**最高料率 0.3%**〕：投資信託の換金時に直接ご負担いただくものです。
- 運用管理費用（信託報酬）〔**実質最高料率 年率2.035%（税込）**〕：純資産総額に対して一定の料率を、信託財産を通じ間接的にご負担いただくものです。
- その他の費用・手数料：信託事務の処理等に要する諸費用（監査費用、目論見書および運用報告書等の印刷費用、公告費用等）、組入有価証券の売買時の売買委託手数料、外国における資産の保管等に要する費用、信託財産に関する租税等についても、信託財産を通じ間接的にご負担いただきます。

※その他の費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を表示することができません。

※上記費用の合計額については保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

投資信託のお申込みに関してご留意いただきたい事項

- 投資信託は、預貯金および保険契約ではなく、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護および補償の対象ではありません。また、登録金融機関で取扱う場合、投資者保護基金の補償対象ではありません。
- 過去の実績は、将来の運用成果を約束するものではありません。
- 投資信託は、株式、公社債等の値動きのある有価証券（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、ご購入時の価額を下回ることもあり、投資元本が保証されているものではありません。これらに伴うリスクおよび運用の結果生じる損益は、すべて投資者のみなさまに帰属します。
- ご購入の際は、あらかじめ販売会社がお渡しする最新の投資信託説明書（交付目論見書）、契約締結前交付書面等（目論見書補完書面を含む）の内容を必ずご確認のうえ、投資のご判断はご自身でなさいますようお願いいたします。

■「投資信託説明書（交付目論見書）のご請求、お申込みは



東海東京証券株式会社
 金融商品取引業者 東海財務局長（金商）第140号
 加入協会 日本証券業協会 一般社団法人金融先物取引業協会
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会